

「夢育」：一人ひとりの子どもが、自分の中で「夢」を育みながら、それに挑戦していく経験を通して、「意欲」や「自信」などの「自分を高める力」を養っていく教育（岡山県教育委員会）



安全安心な人間関係で築かれた家庭は、子どもたちにとって「心の安全基地」となり、非認知能力、夢育のベースにもなります。これを夢育の視点で表現するなら「夢育基地」でしょうか。「わが家のすこやか日記」は、まさに「夢育基地」のエピソード集として親しまれていますが、一方で「そんな余裕はない」「現実ほど遠い」という声も聞こえてきます。そこで、皆さんの「夢育基地」の実現に向けて、少しでもお役に立てればと思い、日記から見える夢育ポイントを紹介します。



夢育アドバイザー（岡山県）中山芳一



作品

一般部門

自転車で塾に通っている中学生の長男が、いつもの時間になっても塾から帰宅しない。外はすでに真っ暗。心配からいらだちをつのらせる母。「ただいま。」と元気よくドアを開けた長男が、「お母さん、誕生日おめでとう。」と差し出した小さな「お母さん誕生日でしょ?」と「おめでと」をくれた。母は涙をこらえながら「ありがとう」と言う。その姿が、母の心を打つ。母は嬉しく感じたのは、「思ってもみなかった」から。つまり「期待してなかった」からです。期待しない中に喜びがあり、思わぬ所に幸運がある。子どもは母の喜ぶ姿を見て自分の行為に価値があることを意識し、非認知能力を伸ばしていく。今回のポイントは良い意味で「期待しない」ことです。期待して感動が薄れる、期待通りにならず腹を立てる、そんな親にはなりたくないですね。（中山芳一）

母の誕生日

マンガ／ぬこ様ちゃん

注目!



夢育ポイント

母の誕生日に、なけなしの小遣いでケーキを買って帰ってきてくれた子ども。誰もが、感動する話です。どうしたらこんな子に育つか教えてほしいとも思います。実は、この日記の中にそのヒントが！

ここで注目すべきは、涙をこらえながら「ありがとう」と言う母親の姿です。この母親がそれほどまでに嬉しく感じたのは、「思ってもみなかった」から。つまり「期待してなかった」からです。期待しない中に喜びがあり、思わぬ所に幸運がある。子どもは母の喜ぶ姿を見て自分の行為に価値があることを意識し、非認知能力を伸ばしていく。今回のポイントは良い意味で「期待しない」ことです。期待して感動が薄れる、期待通りにならず腹を立てる、そんな親にはなりたくないですね。（中山芳一）